

令和6年度 市政アンケート調査 集計結果活用状況

(令和7年3月末時点)

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第1回	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について (住宅都市局 活用課)	・セントラルパーク基本計画策定の基礎資料として、調査結果を活用してきた。 ・セントラルパーク構想は、県をはじめ、市の公園、文化財、観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は、関係部署と共有し、事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては、現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ、福岡城さくらまつりや梅まつりなど、既存イベントの内容を充実させるとともに、多様な民間イベントの受け入れ、季節を通じた賑わい創出に取り組んでいる。また、春、夏、秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど、情報発信についても強化している。	セントラルパーク基本計画の進捗管理や、駐車場再編などの各種事業を検討する際の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「NPOやボランティア活動」について (市民局 市民公益活動推進課)	・令和6年度福岡市市民公益活動推進審議会の参考資料として活用した。 ・「市民公益活動の推進に係る施策 基本方針 主要施策」の見直しにおいて、今後の施策を検討するための資料として活用した。	ボランティア活動参加率の向上のための基礎資料とし、市民の意識の向上を図っていく予定である。
	「環境保全の意識」について (環境局 環境経営推進担当)	「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の推進体制である福岡市環境教育・学習計画推進協議会の中で、指標として活用している。	・「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の指標として活用する。 ・環境保全に関する広報・啓発を行うにあたり基礎となる経年比較や年代比較等の資料として活用する。
	「喫煙のマナー」について (市民局 防犯・交通安全課)	・「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」に基づき、路上喫煙対策に取り組んでいるところであり、市民の喫煙マナーに対する意識を把握し、効果的な施策を検討するために活用している。	・路上喫煙防止に向けた効果的な取組みを推進するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第2回	「ふくおかさん家のうまかもん」について (農林水産局 政策企画課)	「ふくおかさん家のうまかもん」(市内産農林水産物及びその加工食品等)に関する事業の基礎資料として、調査結果を活用している。	市内産農林水産物及びその加工品のブランド化・消費拡大に向けた取組みを、効果的に推進するための基礎資料として活用する予定である。
	「情報通信の利用状況」について (総務企画局 サービスデザイン課)	問8で尋ねた「インターネットでできる福岡市の手続き」の認知度向上のため、市ホームページで定期的に情報発信を行った。	行政手続きのオンライン化をはじめとする情報化の取り組みを拡充する基礎資料とし、市民の利便性向上を図っていく予定である。
	「道路整備」について (道路下水道局 道路計画課)	「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用している。	次期「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「文化芸術」について (経済観光文化局 文化振興課)	問21で尋ねた「福岡市の文化芸術に関する環境に対する満足度」について、「福岡市文化芸術振興計画」の中間評価において、「その他の指標」として活用した。	文化芸術施策を検討するための、基礎資料として活用する予定である。
	「消費生活」について (市民局 消費生活センター)	「消費生活センターの認知度」については、「第2次福岡市消費者教育推進計画」の成果指標として位置づけ、福岡市消費生活審議会及び福岡市消費者教育推進会議において、毎年度、報告の上、進捗状況の確認を受けている。認知度はもとより、その他の集計結果についても、毎年度作成する「事業概要」に掲載の上、審議会や推進会議の委員に配布するほか、本庁・各区役所で市民の閲覧に供し、効果的な施策・事業実施に向けた基礎資料として活用している。	当センターに寄せられる相談の動向に加え、幅広い市民の消費生活実態を把握することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止に向け、効果的な消費者教育・啓発を実施するための基礎資料として活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第3回	「選挙」について (選挙管理委員会 選挙課)	選挙がないときは常時啓発の、選挙が近づいたときは選挙時啓発の基礎資料として、調査結果を活用している。 さらに、年に1回発行している明るい選挙推進情報誌「せんきょかわら版」の掲載内容を検討する際の参考とした。 また、商業施設期日前投票所における、市民の認知・利用状況を把握するために、調査結果を活用した。	若年層の投票率向上のための啓発事業の検討、また、今後、選挙が次回執行される際の啓発事業を検討するための基礎資料、商業施設期日前投票所の設置効果を高めるための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「『食』の安全・安心」について (保健医療局 食品安全推進課)	「第9次福岡市基本計画」施策3-7の成果指標として活用している。 ・「令和6年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定等、食の安全・安心の確保に関する施策の基礎資料として活用した。	福岡市食品衛生監視指導計画策定、食の安全・安心に係る市民啓発など食の安全・安心の確保に関する施策を推進するための基礎資料として活用する予定である。
	「自転車損害賠償保険等への加入状況」について (市民局 防犯・交通安全課)	自転車損害賠償保険等への加入状況の現状をを把握し、効果的な周知・啓発を実施するための基礎資料として調査結果を活用している。	自転車損害賠償保険等への加入促進に向けた基礎資料とし、周知・啓発を図っていく予定である。
	「住宅用火災警報器」について (消防局 予防課)	・市政だよりによる広報や自治協議会等の定例会等を通じた啓発を実施した。 ・60歳代及び70歳以上の設置率が低いことから、「住宅防火・防災キャンペーン」等で老人の日・敬老の日の贈り物として住宅用火災警報器を広報した。 ・調査結果を総務省消防庁に報告した。	・住宅用火災警報器の設置状況や市民意識の傾向等を把握するための基礎資料とするとともに、今後の設置率向上や維持管理の啓発に向けた広報手段を検討し、市民の防火意識向上を図っていく予定である。 ・データ分析すると「持ち家戸建て」の設置率が約55%と低かったことから、今後は持ち家戸建てに対する広報手段を研究していく。
	「地域の活動やまちづくり」について (市民局 コミュニティ推進課)	本市の地域コミュニティ施策について検証・検討を行ううえで、基礎データとして活用した。	本市の地域コミュニティ施策について検証・検討を行ううえで、基礎データとして活用する予定である。 また、自治会・町内会の活動に関する基礎知識などをまとめた冊子「自治会活動ハンドブック」に一部の結果を掲載し、地域活動の参考としていただく予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第4回	「PM2.5・黄砂」について (環境局 環境保全課)	PM2.5・黄砂に関する事業の方向性を検討するため、また、効果的な情報提供方法を検討するための資料として、調査結果を活用した。	調査結果を基に、ニーズにあった情報を提供できるように検討する予定である。 効果的な広報手段を検討するための資料として、調査結果を活用する予定である。
	「福岡市の広報活動」について (市長室 広報課)	・市政だよりの特集テーマの選定や、市ホームページの運用等において参考とした。 ・「行政運営プラン(R4～R6)」の成果指標の数値として活用した。	今後の市政だよりの発行や、市ホームページ、市LINE公式アカウント等の運用において、調査結果を活用する予定である。
	「水道水への意識や水道行政に対する満足度」について (水道局 総務課)	・節水意識や水道行政に対する満足度の数値を、福岡市水道長期ビジョン2028及び第2次中期経営計画の成果指標として活用した。 ・広報紙制作時の基礎資料として、調査結果を活用した。	・政策推進プランや福岡市水道長期ビジョン2028及び第3次中期経営計画に掲載する施策事業の成果指標として活用する予定である。 ・節水啓発事業の効果を測るための基礎資料とする予定である。 ・SNSやイベント等で、対象者をターゲティングして広報するための基礎資料とし活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第5回	「熱中症対策」について (環境局 環境保全課)	熱中症対策事業を推進する際の基礎資料として、熱中症に対する意識や行動等について関係部局と共有することで活用した。	調査結果を基に、より効果的な啓発内容や広報手段を検討する予定である。 今後の熱中症対策事業を推進するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「がん検診」について (保健医療局 地域保健課)	がん検診の受診状況や検診を知ったきっかけ等を踏まえて、がん検診の広報啓発(健診ガイド、ダイレクトメール等)に取り組んだ。	定期的な検診受診を推進するために、引き続き、有効的な広報や、検診の実施方法を検討していく予定である。
	「家庭ごみ」について (環境局 計画課、ごみ減量推進課、収集管理課)	・ごみ処理基本計画の取組指標として、調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策検討の基礎資料として活用した。	・ごみ処理基本計画の取組指標として、調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策検討の基礎資料として活用する予定。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について (総務企画局 行政マネジメント課)	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第6回	「ユニバーサル都市・福岡」について (総務企画局 企画調整部)	福岡市基本計画において、「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに、取組みの基礎資料として活用している。	第10次福岡市基本計画においても、「多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進」を掲げており、適切な事業の進捗管理を行っていくとともに、効果的な取組みを実施するため、調査結果を活用していく予定である。
	「外国人観光客のマナー」について (経済観光文化局 クルーズ課)	外国人マナー啓発事業の実施検討にあたり、調査結果を活用した。	今後の事業展開にあたり、活用していく予定である。
	「食のユニバーサル」について (経済観光文化局 クルーズ課)	次期基本計画の施策目標設定するための参考資料の一つとして活用した。	今後の事業実施に向けて調査結果を参考にし、多様な食文化に対応した受入環境の充実を図っていく予定である。
	「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について (環境局 脱炭素社会推進課)	・「ECOチャレンジ応援事業」や「住宅用エネルギーシステム導入促進事業」、「次世代自動車の普及促進」により得られるデータなどと合わせて、家庭での省エネ促進や再生可能エネルギー導入拡大、自動車の脱ガソリン車化に向けた、効果的な施策展開を検討するための基礎資料とした。	・家庭における省エネルギーや再生可能エネルギーの導入等に関する取組み状況や今後の取組み予定を把握し、脱炭素社会の実現に向けた施策の検討に活用する予定である。
	「ユマニチュード®」について (福祉局 ユマニチュード推進課)	市民へのユマニチュードの周知、及び事業検討のための参考資料として活用した。	ユマニチュードの普及啓発に取り組む上での企画・広報等の参考資料として、今後の効果的な事業実施に努めていく予定である。